

(第5回記念総会は12名程度に案内し、6名に出席いただいた。)

- ④ 吉田会長の挨拶の中で、来賓・協賛会員の紹介及び「彦機会」の活動状況を説明する。
「彦機会」から「工学部学友会」への発展的移行については、簡単に触れ詳細は、国領常任幹事からの「工学部学友会」設立経緯説明の中で行なう。
活動状況の報告は、第65回幹事会総会(H23/4月)議事録に添付した活動計画及び実績をアレンジしたものを冊子に入れる。
- ⑤ 総会冊子に「同好会だより」を入れるので、ゴルフ・テニス?・ウォーキング&小旅行・カラオケ愛好会・フォト同好会の世話役は22・23年の活動報告をA4で1枚程度に纏めて下さい。
- ⑥ 会計報告は行なわない。
- ⑦ 「工学部学友会」設立経緯説明は、国領常任幹事が行ない、何故「工学部学友会」を設立することになったかに力点を置き、約1年間に及び設立準備チームによる準備の経緯を説明する。
又、この中で「工学部学友会」の設立発議、会長及び役員(理事)人事案を説明し、拍手承認を取り付ける。
- ⑧ 「工学部学友会」の会長人事については田頭顧問にもご尽力頂き検討してきたが、種々紆余屈折があったが、最終的に立入副会長にお願いし内諾を得た。立入副会長は現在会社経営のトップとして忙しい状況であるので、他の役員(理事)が全面的にサポートすることが条件である。
役員(理事)は、機械科は「彦機会」の幹事がそのままスライドし、化学科は8名程度候補者が決まっている。大学がどこに勤めておられたかに関心をもたれているので「主職歴」について化学科関係は長谷さんに纏めをお願いする。但し、冊子の中の役員リストには入れない。
副会長、他必要な役職役員は明確に決めて、冊子に入れる。
又、学年幹事について、機械科はリストアップ済であるが、化学科は現在最後の調整中で9月10日の準備チームミーティングまでに纏める。
県大卒業生については山根教授にお願いしているが、設立時点には間に合わないが、今後も引き続きプッシュしていく。
- ⑨ 会長始め役員人事の承認を受けた後、立入新会長に挨拶をお願いする。
- ⑩ 「工学部学友会」は11月20日の総会で承認された時点で発足となるが、H24年3月末までは引継ぎ移行期間とし、吉田会長はそれまで任に当たる。
- ⑪ 推薦のあった奥村 政信氏(S32M)に顧問就任をお願いする。又、化学科からも適任者を選出して頂きたいが、発足時には難しい状況であるが引き続き検討する。
- ⑫ ご来賓の挨拶(祝辞)は、湖風会岡田新会長と県大の山根教授にお願いする。
時間は各々10分とし、冊子掲載のレジュメ(A4一枚)も併せてお願いする。
- ⑬ 来賓・協賛会員・学年幹事宛ての案内状は、吉田会長が作成し、内片副会長担当のチラシと合わせ送付する。
送付及びお願いは松下副会長にして頂く。但し化学科の学年幹事宛ての案内状は一部アレンジが必要となるが国領常任理事にお願いし、9月10日開催の準備チームミーティングで詰める。化学科関係の学年幹事への案内は長谷さんにお願いする。
又、9月10日に湖風会の役員会が開催される、その折に松下副会長から関係者にその旨の依頼をしたいので案内状およびチラシはそれに間に合わせる。
尚、湖風会の新役員に近畿支部長として、川崎 眞治氏(S36C)が入られた。
湖風会本体の協力を得る観点からも総会への出席を働きかける。(会員として)
- ⑭ 集合写真は山添常任幹事担当とし、当日配布したいので、プリント手配を小池さんをお願いする。又、総会、懇親会に於けるスナップ写真撮影は、藤浪が担当する。

- ⑮ 学年幹事からの出席者のリストは、機械科関係は国領常任幹事へ、化学科関係は、学年幹事→長谷さん→国領常任幹事のルートとする。(詳細は9月10日打合せ)

iii 懇親会について

- ① 懇親会の司会は、林さん(S38C)にお願いする。
- ② 懇親会でのご来賓の挨拶は内藤名誉教授、田中名誉教授にして頂くこととし、案内状を差し上げる際その旨のお願いをしておく。
- ③ 乾杯の音頭は、内片副会長とする。
- ④ 懇親会のビデオ撮影を山添常任理事にお願いする。
- ⑤ 懇親会の中で、各卒年別、学部別の出席者の紹介を行なう。各グループの代表者にマイクを渡し、その方から紹介してもらう。
- ⑥ アトラクションは、彦根マンドリン・アンサンブルの代表者が化学科卒であることもあり、彦根マンドリン・アンサンブルに出演を依頼する。吉田会長が折衝担当とする。予算的に苦しいので謝礼は交通費程度でお願いする。
- ⑦ 締め乾杯の音頭は、奥村さん(S32M)が顧問に就任して頂け出席された場合は奥村さんをお願いする。駄目な場合は田頭顧問にお願いする。

iv 予算案について

- ① 内片副会長の試算では、会費徴収者50名と見積り、寄付・企業の協賛広告が無いとすると128,000円程度の赤字となる見込みである。
- ② 冊子に企業・団体の協賛広告(1口1万円)の募集を第5回総会に準じて行なう。対象企業に心当たりのある方は、機械科関連は内片副会長に、化学科関連は林さんに連絡する。最終的に内片副会長が取りまとめる。(9月15日まで)卒業生がオーナーであったり、経営トップで影響力がある企業を考える。(広告とは云い難い、むしろ寄付をお願いする気持ちで)
- ③ 出席者からの寄付は、前回と同要領でお願いする。
- ④ 現在、「彦機会」の繰越金が約40万円弱あるので、何とか乗り切れると考える。
- ⑤ 冊子は第5回記念総会に準じて作成する。(記念総会特有の内容は除く)作成部数は100部とする。

v その他

- ① 各役割分担については、基本的に前回の通りとするが、化学科のメンバーも入れて作成して明確化する。藤浪が行い、後日配布する。
- ② 今回、会計的に苦しいため受付嬢の依頼はなしとし、役員または会員が担当する。

【参考】今回設立予定の「工学部学友会」の対象者は、短大の機械科・機械紡織科、化学科・染色科及び県大の工学部を対象とし、短大の工業部にあった建築科が入っていないことに疑問を持たれる方がいるかも知れないが、短大建築科の同窓会(湖建会)は湖風会 学部同窓会の環境科学部(県大組織 環境科学部に建築デザイン学科有り)同窓会に組み込まれているからであることで理解してもらう。



<報告事項>

2、湖風会関連報告（松下副会長より）

① 6月25日と7月16日に湖風会の役員会が開催された。

主要テーマは、新役員会の役割分担と進め方についてであった。詳細はHPに掲載されているので参照下さい。

② 7月23日（土）に2011年度通常総会が開催され、彦機会から田頭顧問、松下副会長、国領常任幹事が出席された。

平成23年度役員改選が行なわれ、岡田新会長以下29名の役員・監事が承認された。又、旧5同窓会（彦根工業会・農業部同窓会・芹翠会・湖畔の会・滋賀県大同窓会）からの拠出金（寄付金）が別途積立金という形で集計され、平成23年3月31日現在の残高は・50,741,823円となっている。

懸案の同窓会館建築計画（案）が上程され承認された。

- ・建設費 ; 42,500,000円
- ・備品購入費 ; 4,500,000円
- ・年間維持管理費 ; 500,000円程度

尚、竣工は平成25年2月の予定。費用は別途積立金を充当するが、同時に同窓会会員から寄付を募り積立金からの取崩をカバーしたいとのこと。

新役員体制で、8月23日に名簿管理委員会、9月10日に役員会が開催される。

その中で、今年度湖風会会誌第3号を発刊予定であるのでその対応も討議される。

3、次回の幹事会は、予定の10月9日を取りやめ、10月2日（日）に工学部学友会準備チームとの合同会議とする。今回同様会議室を予約する。（10時～15時、費用5,250円）その次の幹事会は、11月6日（日）とし、同じく会議室の予約を行った。

以上。

次回幹事会 日時：平成23年10月2日（日）10：00～
場所：パナソニックリゾート大阪
次回も、工学部学友会準備チームとの合同会議となります。



合同「幹事会」に出席の皆さん



レストランで昼食中の皆さん